

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和 6年 7月 25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 安永 敦美 電話番号： 03-6665-5300

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場
導入年月日	2003年 12月 19日
認証番号	E1221
基本方針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤FSC認証製品をはじめとした環境に配慮した商品の提供 ⑥積極的な環境コミュニケーション
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①環境事故ゼロ（環境事故・ヒヤリ・苦情0件、環境法令の順守） ②省エネルギーの推進（エネルギー原単位対前年1%削減、契約電力以下での運用、再生エネルギー設備の導入） ③産業廃棄物発生量の削減（最終処分量を製品当り0.01%以下の継続、有価率向上の推進（廃棄物処理費用削減）） ④積極的な環境コミュニケーション（行政への定期届出） ⑤環境に配慮した製品の開発（FSC認証製品の提供、PRTR法対象物質の代替品への切替、QMSの推進）
目標を達成するための取組の内容	①日本製紙グループ環境事故水平展開、環境計器校正定期校正 ②省エネ委員会活動、歩留改善、最大電力デマンドコントロール ③廃棄物委員会活動、分別の継続、廃棄物業者視察 ④工場見学受入れの推進 ⑤FSCクレジット運用管理
目標を達成するための取組の進捗状況	①環境事故ゼロ（環境事故0件） ②省エネルギーの推進（太陽光発電設備増設検討） ③産業廃棄物発生量の削減（分別の徹底による処理費用削減） ④積極的な環境コミュニケーション（工場見学155名（16件）） ⑤環境に配慮した製品の提供（FSC維持審査）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	環境事故0件、環境苦情も0件であり目標達成である。環境法令順守の下、環境パトロールの継続、環境設備の点検、管理を継続して取り組む。その他はほぼ計画通りに取り組むことができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、本社からの環境情報及び法規制等要求事項登録簿の更新等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回の内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。令和5年度は現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られた。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください